

宇宙線研究所地下2階低バックグラウンド室での 作業について

宇宙線研究所

2014年8月12日改訂

液体窒素補充作業について

液体窒素補充作業は必ず二人以上で行う。うち、少なくとも1名は寒剤取扱講習を受講した資格者であること。共同利用研究者内で二人都合付かない場合は、平日昼間に限って宇宙線研究所スタッフ・技術職員が一名同行することが可能。その場合は3日前までに事務担当を通じてスタッフ・技術職員とスケジュール調整を行う。

低バックグラウンド室での作業について

低バックグラウンド室での作業（液体窒素補充作業を除く）は1名から、平日休日、昼夜問わず作業を行うことができる。（ただし学生は夜間22時-6時および休日の一人作業は避ける。）作業予定の情報共有および安全面での考慮から、作業予定を宇宙線研究所事務担当に事前連絡し、事務担当はメーリングリストを通じて宇宙線研究所スタッフに作業予定を周知する。

入室前の低バックグラウンド室環境の確認

低バックグラウンド室入室前の地下1階エレベータ前にて室内換気扇電源の確認（地下1階エレベーター入口右に設置）と、酸素濃度計（低バックグラウンド室内に設置）をビデオモニターで酸素濃度の確認を行う。また備え付けの入室記録用紙に入室者の氏名、時刻と共に記録する。酸素濃度が19%以下の数値を示している場合、入室を中止し、宇宙線研究所スタッフ等の関係者を呼んで調査を行う（法定での立入禁止は18%以下）。

有事での対応

低バックグラウンド室で不慮の事故が生じた場合、宇宙線研究所緊急連絡網に従って速やかに連絡を行う。

安全講習の受講

低バックグラウンド室にて作業を行う者は、所定の手続きを通して柏キャンパス安全講習を受講しなければならない。

担当者

宇宙線研担当スタッフ 奥村（内65145）

事務担当 木次（内65149）